

新幹線整備の実現を目指して

中海・宍道湖・大山圏域は、新幹線や高速道路などの基幹的な社会基盤整備が、他の地域と比べて遅れをとってきた。このことが、人口や産業を流出させ、他の地域との格差を拡大させる要因の一つとなっています。

国は、建設を開始すべき新幹線鉄道路線（基本計画路線）として山陰新幹線と中国横断新幹線（伯備新幹線）

線）の2路線を昭和48年に定められた。しかし、その後、45年以上にわたり進展していません。

そのため、安来市を含む、圏域の市町村、市町村議会、経済団体の計44団体は、中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議を令和元年5月に設立。中国横断新幹線（伯備新幹線）と山陰新幹線の実現に向けた国への要望活動などを行っています。

国への要望内容

- ① 「中国横断新幹線」（伯備新幹線）と「山陰新幹線」を次期整備計画に位置付けること
- ② 新幹線整備にかかる予算総枠の拡大を図ること
- ③ 整備事業費の地元負担のあり方の見直しを検討すること
- ④ 並行在来線を経営分離しないために必要な措置を検討すること

中海・宍道湖・大山圏域への効果

● 短い時間で移動できるため、仕事や観光、レジャーなどに気軽に行き来できるほか、滞在も長くできるようになります。

また、新幹線を使えば、引越したり単身赴任をしなくても通勤できるようになります。

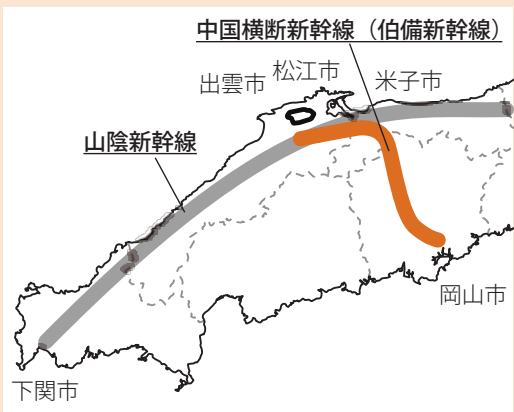
● 定住促進、観光・ビジネス交流の拡大などが実現し、大きな経済効果が期待されています。

● 島根県では、県民所得が5・81兆円、人口が17・8万人の増加となる試算も出ています。（京都大学大学院工学研究科 藤井聡研究室試算。2031年着工、2045年建設完了、2046年供用開始を想定。）

【問い合わせ】

中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議

（事務局：松江市委交通政策課）
電話 0852-555209



●山陰新幹線

基本計画では「起点 大阪市、主な経過地 鳥取市付近・松江市付近、終点 下関市」と定められています。

●中国横断新幹線（伯備新幹線）

基本計画では「起点 岡山市、終点 松江市」と定められています。

※推進会議では、岡山市と出雲市を結ぶ「特急やくも号のルート」に近いものをイメージして、「伯備新幹線」と呼んでいます。

※東西を走る「米子市～松江市～出雲市」は「山陰新幹線」との供用区間となります。

新幹線が通ると・・・



【出典：京都大学大学院工学研究科 藤井聡研究室試算】